

事業所意識調査

目 次

事業所意識調査

(1) 調査概要	1
(2) 調査結果	2
(3) 調査票	27

(1) 調査概要

- 1 調査目的 将来のまちづくりの基本的な方針を定める「都市計画マスタープラン」策定に向けて、計画策定の参考とするため事業所意識調査を実施した。
- 2 調査対象 安中市にある企業・事業所（令和5年4月1日現在）
100社
- 3 抽出方法 該当する事業者から抽出
- 4 調査方法 郵送により発送・回収
- 5 調査期間 令和5年6月26日～令和5年7月10日
- 6 回収結果 58件
- 7 有効回答数 58件（回収率 58.0%）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

安中市都市計画マスタープラン策定に係る事業所アンケート

調査目的	都市計画マスタープラン策定に向けての意向把握
対象	安中市にある企業・事業所
調査方法	本調査票への記入・郵送
調査期間	令和5年6月26日～令和5年7月10日
標本数	100 票
回答した事業者数	58 票
有効回収率	58 %

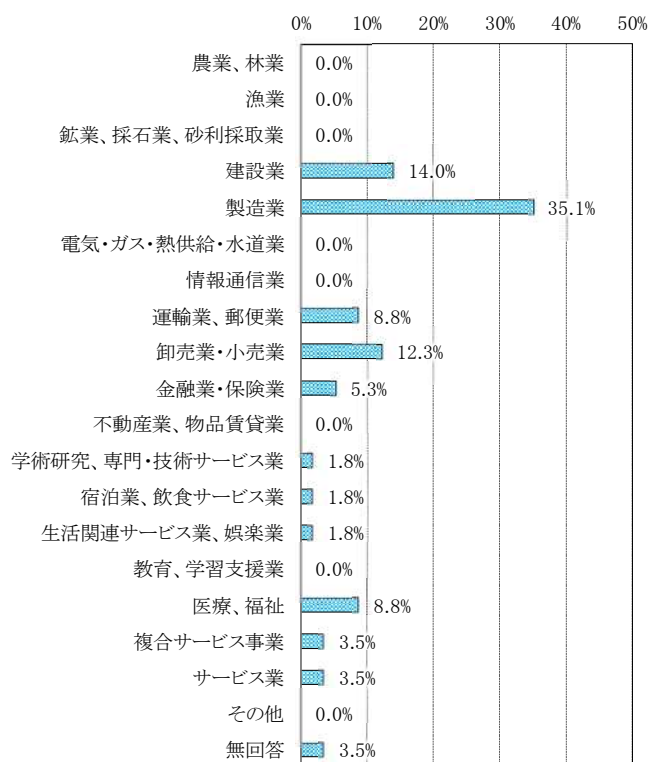
1. 貴事業所のことについてお伺いします。

問1 貴事業所の業種についてお選びください。(あてはまる番号1つに○)

業種については、「製造業」が35.1%で最も多く、次いで「建設業」14.0%、「卸売業・小売業」12.3%となっています。

選択肢	件数	比率
1. 農業、林業	0	0.0%
2. 漁業	0	0.0%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
4. 建設業	8	14.0%
5. 製造業	20	35.1%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
7. 情報通信業	0	0.0%
8. 運輸業、郵便業	5	8.8%
9. 卸売業・小売業	7	12.3%
10. 金融業・保険業	3	5.3%
11. 不動産業、物品賃貸業	0	0.0%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	1	1.8%
13. 宿泊業、飲食サービス業	1	1.8%
14. 生活関連サービス業、娯楽業	1	1.8%
15. 教育、学習支援業	0	0.0%
16. 医療、福祉	5	8.8%
17. 複合サービス事業	2	3.5%
18. サービス業	2	3.5%
19. その他	0	0.0%
無回答	2	3.5%
計	57	100.0%

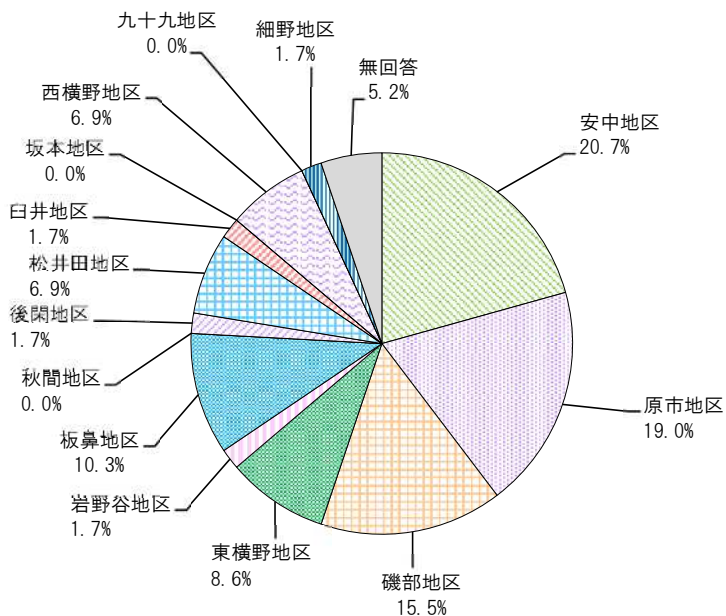
複数回答による集計除外1名



問2 貴事業所の所在地についてお選びください。(あてはまる番号1つに○)

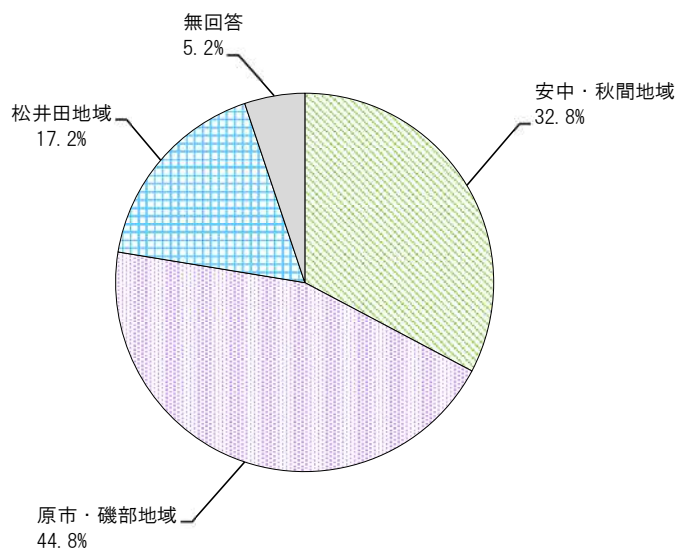
- 所在地は、「安中地区」が20.7%で最も多く、次いで「原市地区」19.0%、「磯部地区」15.5%となっています。
- 所在地域については、「原市・磯部地域」が44.8%で最も多く、次いで「安中・秋間地域」32.8%となっています。

選択肢	件数	比率
1. 安中地区	12	20.7%
2. 原市地区	11	19.0%
3. 磯部地区	9	15.5%
4. 東横野地区	5	8.6%
5. 岩野谷地区	1	1.7%
6. 板鼻地区	6	10.3%
7. 秋間地区	0	0.0%
8. 後閑地区	1	1.7%
9. 松井田地区	4	6.9%
10. 臼井地区	1	1.7%
11. 坂本地区	0	0.0%
12. 西横野地区	4	6.9%
13. 九十九地区	0	0.0%
14. 細野地区	1	1.7%
無回答	3	5.2%
計	58	100.0%



【所在地域】

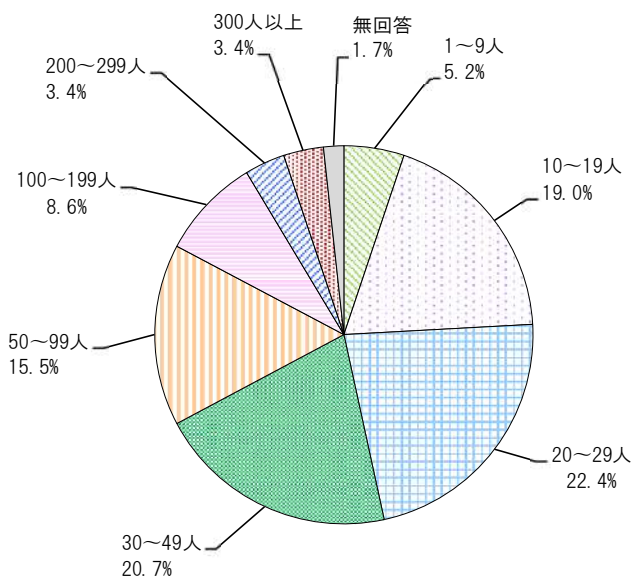
選択肢	件数	比率
1. 安中・秋間地域	19	32.8%
2. 原市・磯部地域	26	44.8%
3. 松井田地域	10	17.2%
無回答	3	5.2%
計	58	100.0%



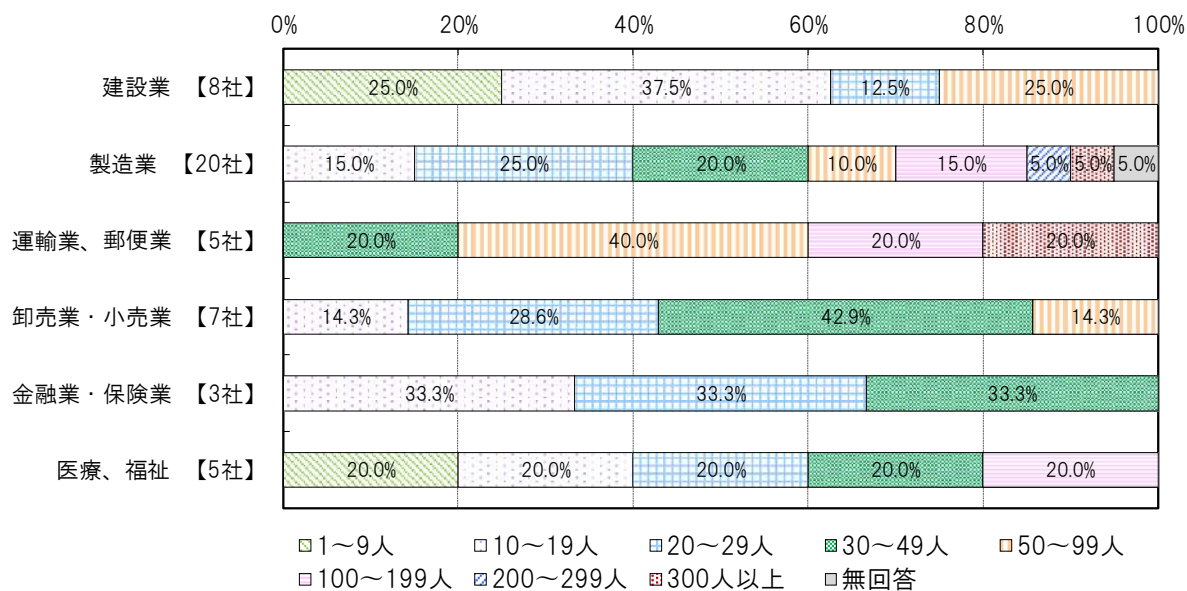
問3 貴事業所の従業員数についてお選びください。(あてはまる番号1つに○)

- 従業員数は、「20～29人」が22.4%で最も多く、次いで「30～49人」20.7%、「10～19人」19.0%となっています。
- 業種別にみると、『製造業』については、従業員数が「10～19人」から「300人以上」まで、規模が多岐にわたっています。

選択肢	件数	比率
1. 1～9人	3	5.2%
2. 10～19人	11	19.0%
3. 20～29人	13	22.4%
4. 30～49人	12	20.7%
5. 50～99人	9	15.5%
6. 100～199人	5	8.6%
7. 200～299人	2	3.4%
8. 300人以上	2	3.4%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種



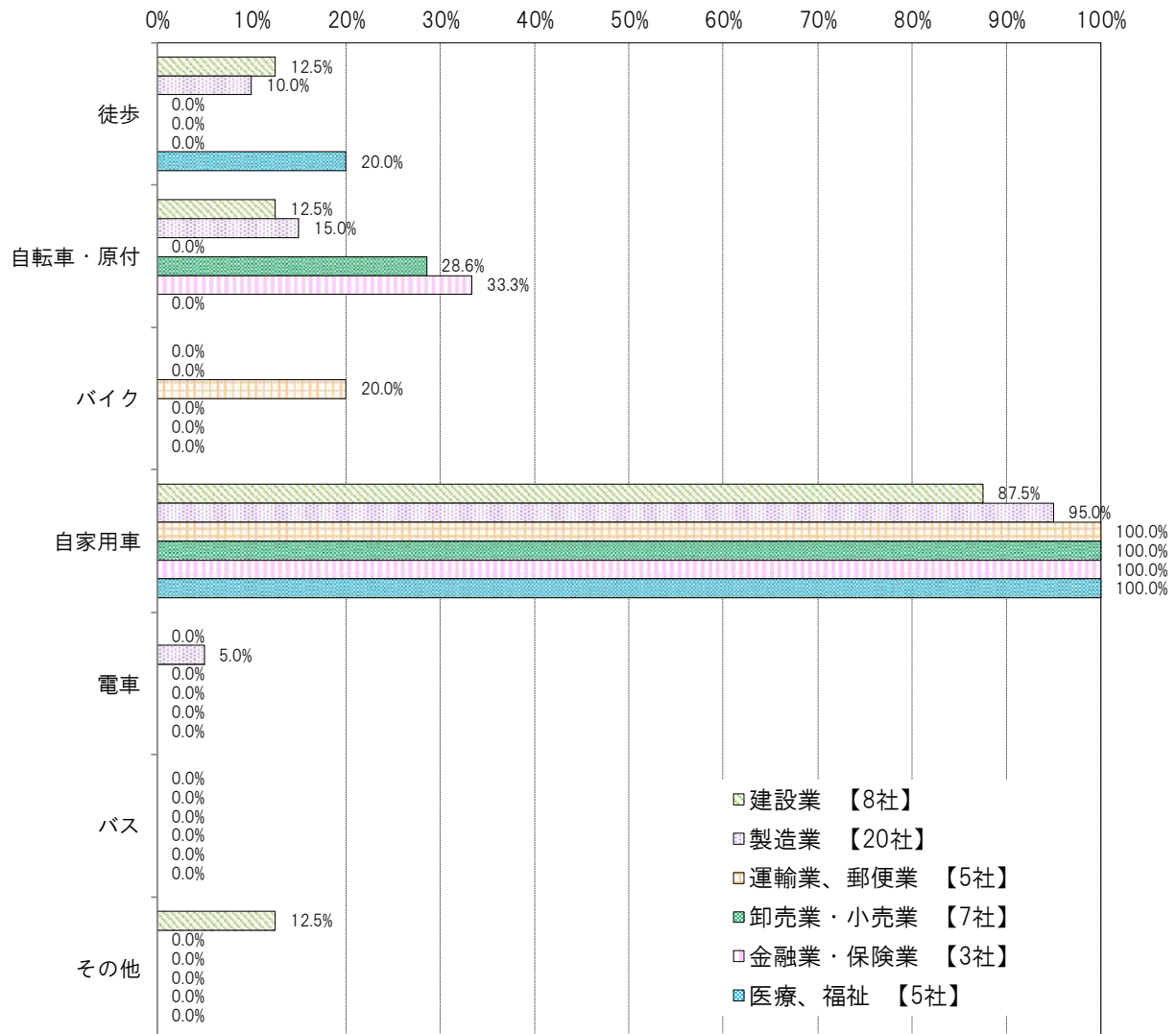
問4 貴事業所の従業員の主な通勤手段についてお選びください。(あてはまる番号2つまでに○)

- 「自家用車」が圧倒的に多く、次いで「自転車・原付」となっており、電車やバスの公共交通は極めて少数となっています。
- 業種別にみてもほぼ同様の傾向となっています。

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1. 徒歩	4	6.9%					
2. 自転車・原付	8	13.8%					
3. バイク	2	3.4%					
4. 自家用車	54	93.1%					
5. 電車	1	1.7%					
6. バス	0	0.0%					
7. その他	1	1.7%					
無回答	0	0.0%					
計	70						

集計母数58名

【業種別】3社以上の回答のあった業種

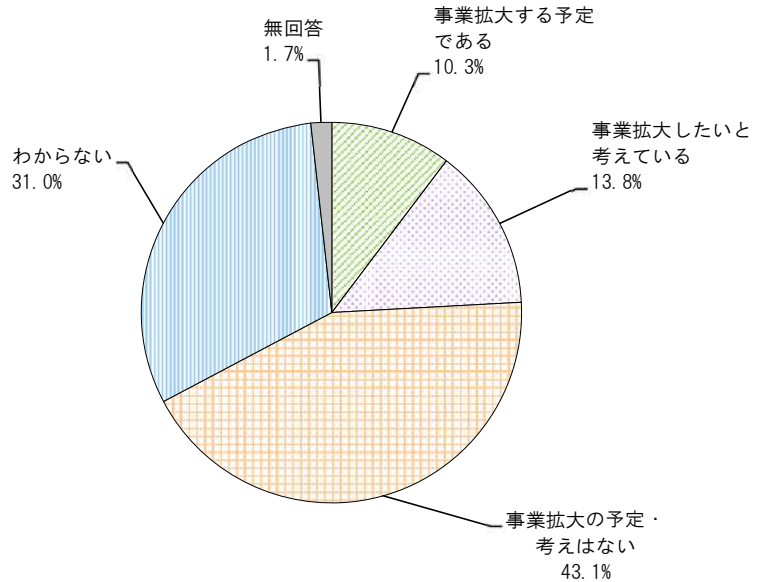


**問5 今後、貴事業所において事業拡大(新たな事業用地の確保・現事業用地の拡大等)のお考えはありますか。
(あてはまる番号1つに○)**

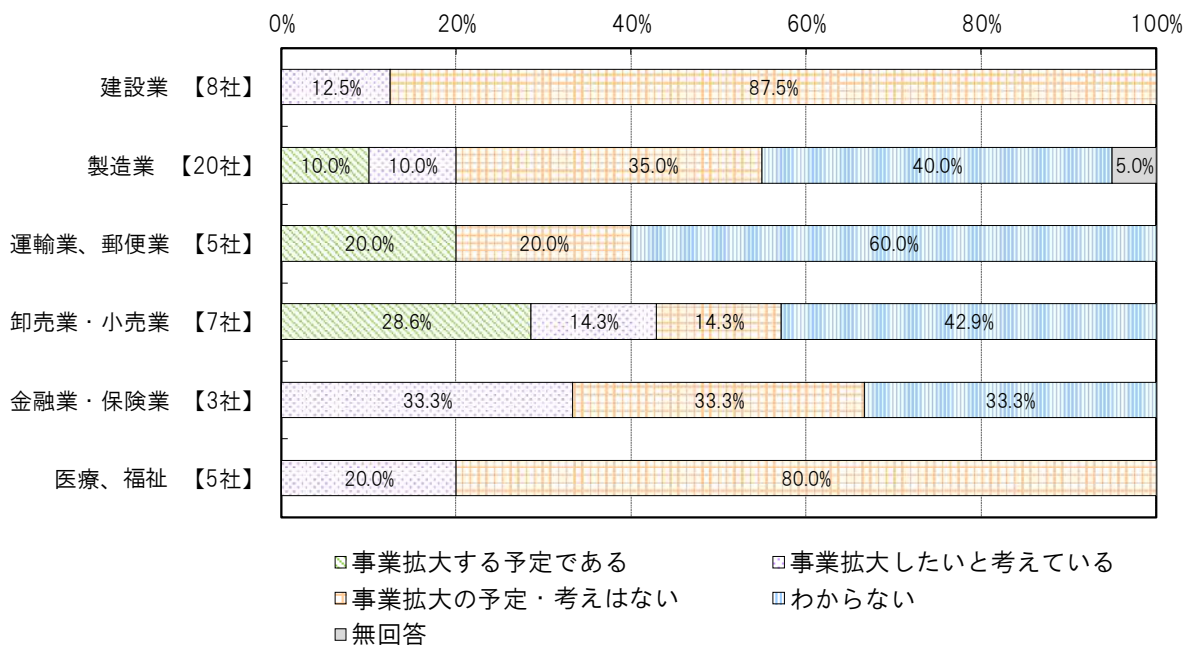
「事業拡大の予定・考えはない」が43.1%で最も多く、「事業拡大する予定である」と「事業拡大したいと考えている」を合わせても24.1%と、事業拡大の意向は2割程度に留まっています。

業種別にみると、事業拡大の意向が最も強いのは『卸売業・小売業』で、逆に、『建設業』、『医療、福祉』は、8割以上が「事業拡大の予定・考えはない」と回答しています。

選択肢	件数	比率
1. 事業拡大する予定である	6	10.3%
2. 事業拡大したいと考えている	8	13.8%
3. 事業拡大の予定・考えはない	25	43.1%
4. わからない	18	31.0%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種

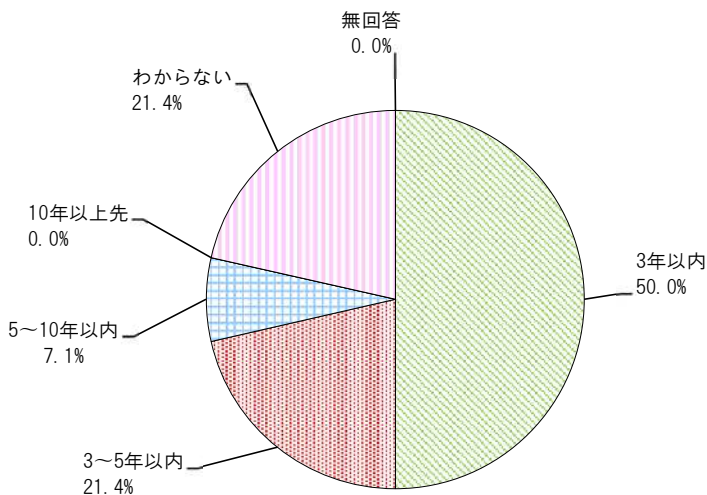


問6 問5において、「事業拡大する予定である」または「事業拡大したいと考えている」と回答した事業所にお伺いします。 14社

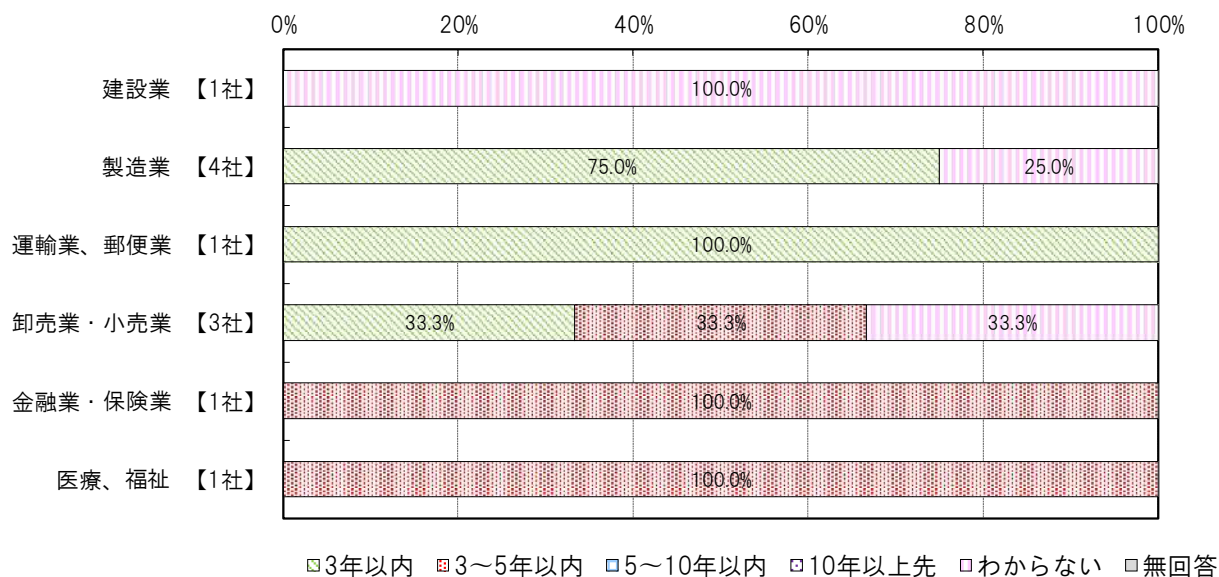
事業拡大について、現時点から何年後の実現を予定または考えていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 「3年以内」が50.0%で最も多く、次いで「3～5年以内」、「わからない」がともに21.4%となっています。
- 業種別にみても、回答母数が少なく、特に傾向はありません。

選択肢	件数	比率
1. 3年以内	7	50.0%
2. 3～5年以内	3	21.4%
3. 5～10年以内	1	7.1%
4. 10年以上先	0	0.0%
5. わからない	3	21.4%
無回答	0	0.0%
計	14	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種のうち、問5で「事業拡大する予定である」または「事業拡大したいと考えている」と回答した事業所



問7 安中市では、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティあんなか」を令和5年6月11日に宣言しました。

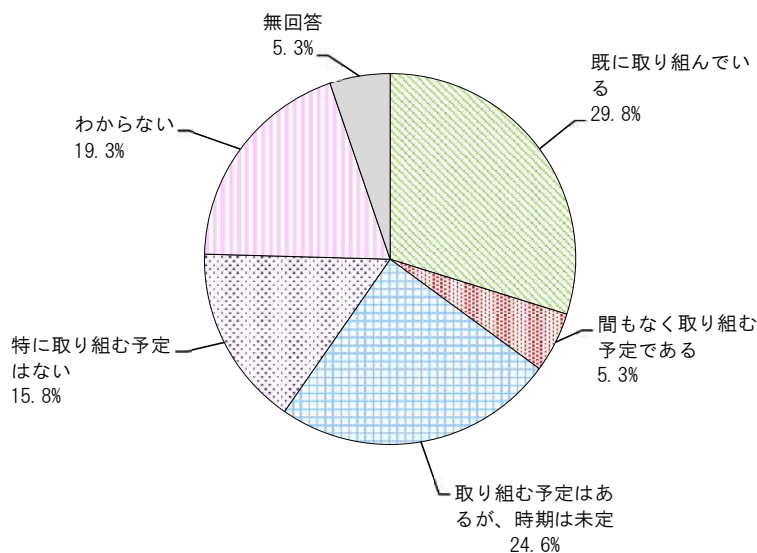
貴事業所において、今後、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする取組や、二酸化炭素の排出量を削減する取組を進める予定はありますか。(あてはまる番号1つに○)

「既に取り組んでいる」が29.8%で最も多く、次いで「取り組む予定はあるが、時期は未定」24.6%、「わからない」19.3%となっており、既に取り組んでいるか取り組む予定がある事業所は6割近くを占めています。

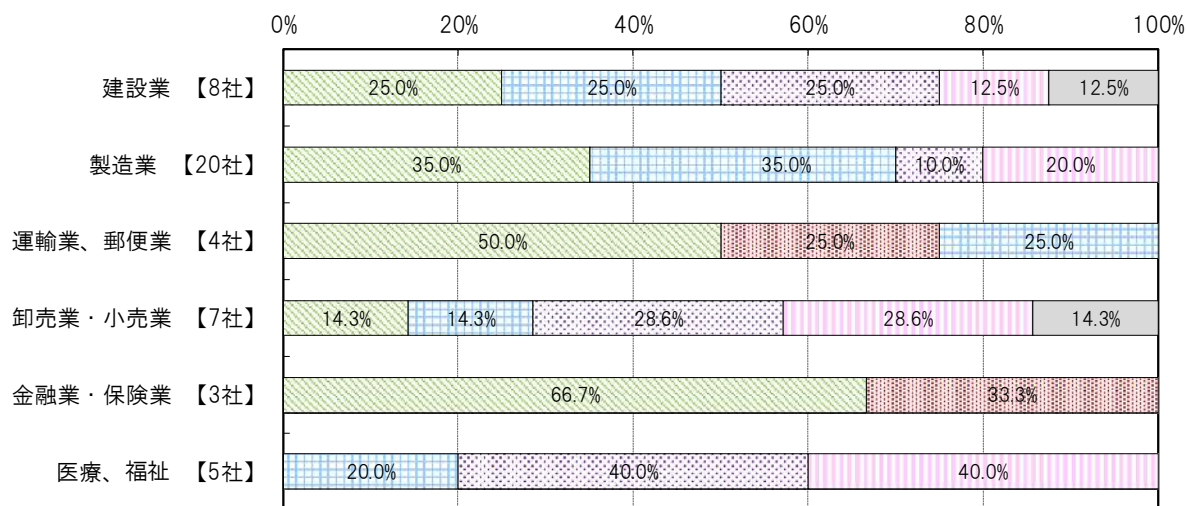
業種別にみると、『運輸業、郵便業』と『金融業・保険業』では「既に取り組んでいる」との回答が5割を超えています。

選択肢	件数	比率
1. 既に取り組んでいる	17	29.8%
2. 間もなく取り組む予定である	3	5.3%
3. 取り組む予定はあるが、時期は未定	14	24.6%
4. 特に取り組む予定はない	9	15.8%
5. わからない	11	19.3%
無回答	3	5.3%
計	57	100.0%

複数回答による集計除外1名



【業種別】3社以上の回答のあった業種



- 既に取り組んでいる
- 間もなく取り組む予定である
- 取り組む予定はあるが、時期は未定
- 特に取り組む予定はない
- わからない
- 無回答

問8 問7で「既に取り組んでいる」または「間もなく取り組む予定である」と回答した事業所にお伺いします。二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする、または排出量を削減する具体的な取組について教えてください。（簡潔に、可能な範囲で結構です。）

● 具体的な取組としては、再生可能エネルギー(太陽光発電等)の活用、低公害型車両、重機の導入、LED照明の導入などが多く挙げられています。

1. 既に取り組んでいる

・低公害型建機使用の推進 ・アイドリング／空ぶかしの禁止	建設業
節電。自動車→自転車通勤。効率の良い機器使用。	建設業
・太陽光 ・アイドリングストップ	製造業
ソーラーパネル設置	製造業
再生可能エネルギー発電による相殺。	製造業
照明を全てLED化した。	製造業
設備の見直し、SDGs取組みなど	製造業
太陽光発電設備の設置	製造業
動力源、燃料の転換を検討中。	製造業
エコドライブの推進。CO ₂ の削減。	運輸業、郵便業
北海道当麻郵便局、千葉県丸山郵便局 ・CLTを活用した郵便局舎 ・木質バイオマスによる自家発電、暖房 ・蓄電池の設置 ・LED照明の導入 ・電気自動車、電気バイクの導入等	運輸業、郵便業
カーボンニュートラルLPガスを利用した空調設備利用。	卸売業・小売業
紙をなるべく使わない。	金融業・保険業
自家消費型太陽光発電	金融業・保険業
施設照明のLED化を順次行っている。	複合サービス事業
排出負荷を低減する車両や機械などの導入、検討、実施。IT化や作業内容見直しによる工程等の効率化。クリーンエネルギーの採用に向けた動き。	複合サービス事業
老朽化設備の計画的な更新。	無回答

2. 間もなく取り組む予定である

太陽光発電による自家消費	運輸業、郵便業
電気自動車を納車予定。	金融業・保険業

1. 既に取り組んでいると2. 間もなく取り組む予定であるに両方回答

全車両EV化に向けて取り組んでいます。(2030年までに) 事業所にソーラーパネルを設置予定。	運輸業、郵便業
--	---------

3. 取り組む予定はあるが、時期は未定

・営業車で電気自動車を1台導入。 ・他、環境対応車が主流になれば考える。	運輸業、郵便業
---	---------

問7は無回答

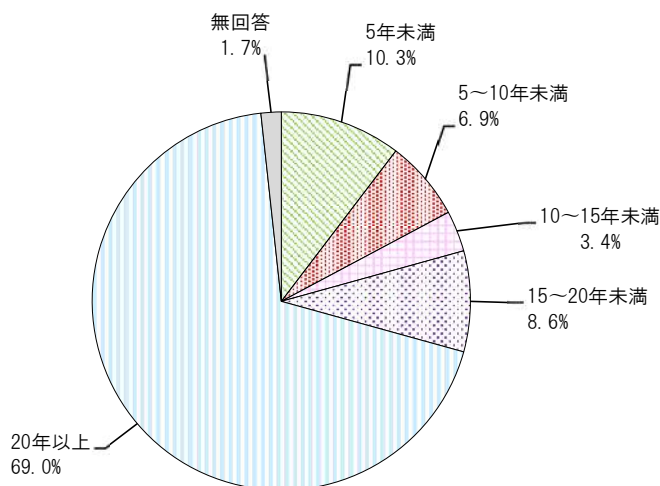
CO ₂ 排出量を低減する重機を使用。エコアクション21取り組み中。	建設業
エコアクション21登録取組	卸売業・小売業

2. 現所在地での継続営業意向についてお伺いします。

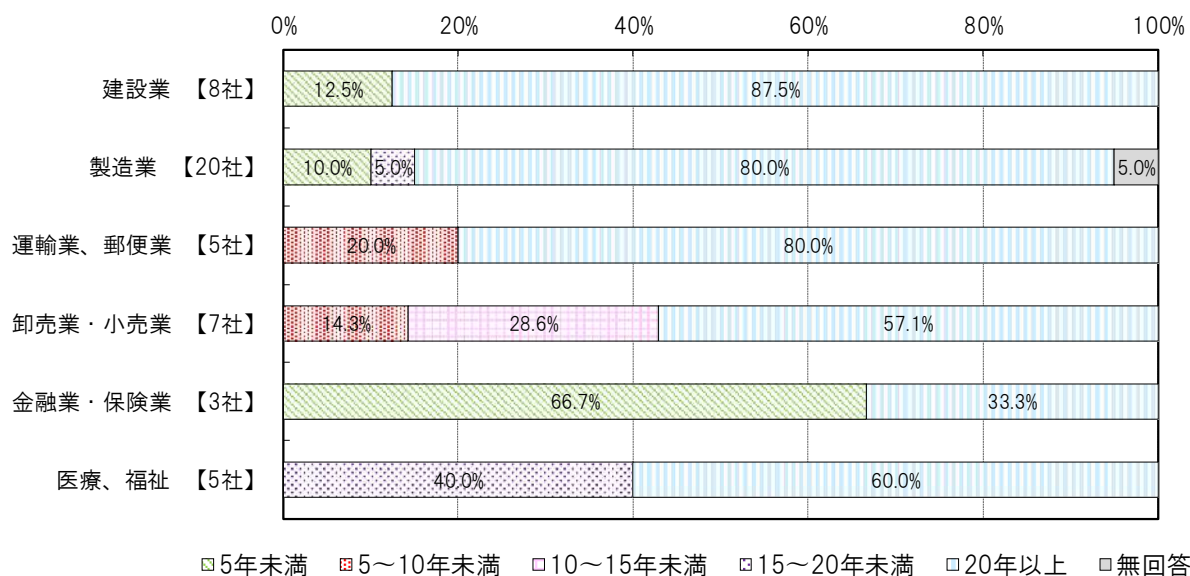
問9 貴事業所の現在の所在地での営業年数についてお選びください。(あてはまる番号1つに○)

- 営業年数は、「20年以上」が69.0%で圧倒的に多く、7割近くを占めています。
- 業種別にみてもほぼ同様の傾向であるが、『金融業・保険業』については「5年未満」が最も多くなっています。

選択肢	件数	比率
1. 5年未満	6	10.3%
2. 5～10年未満	4	6.9%
3. 10～15年未満	2	3.4%
4. 15～20年未満	5	8.6%
5. 20年以上	40	69.0%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種

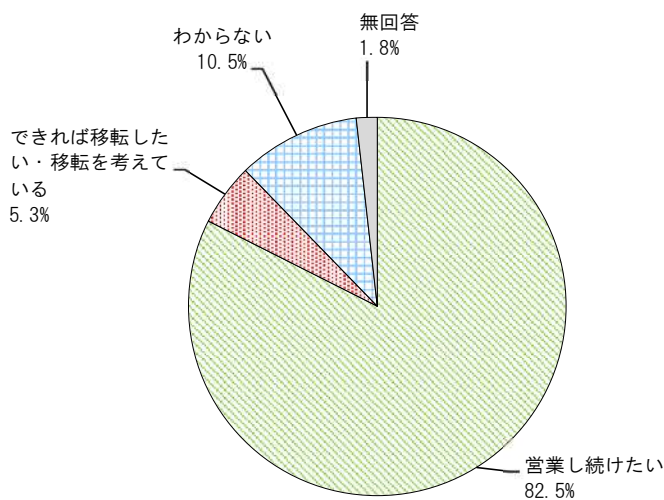


問10 現在の所在地での継続営業意向についてお選びください。(あてはまる番号1つに○)

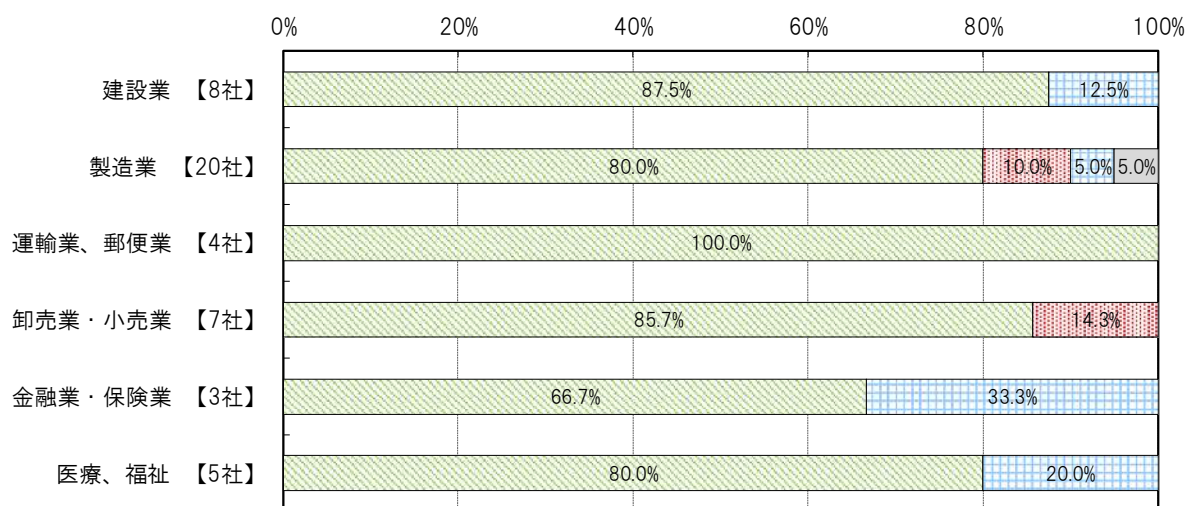
- 「営業し続けたい」が82.5%で圧倒的に多く、約8割を占めています。
- 業種別にみても、ほぼ同様の傾向となっています。

選択肢	件数	比率
1. 営業し続けたい	47	82.5%
2. できれば移転したい・移転を考えている	3	5.3%
3. わからない	6	10.5%
無回答	1	1.8%
計	57	100.0%

複数回答による集計除外1名



【業種別】3社以上の回答のあった業種



営業し続けたい
 できれば移転したい・移転を考えている
 わからない
 無回答

問11 問10 で「できれば移転したい・移転を考えている」と回答した事業所にお伺いします。

3社

①移転を希望する理由、②希望する・考えている移転先、③移転先の立地環境として最も重視するものについて教えてください。

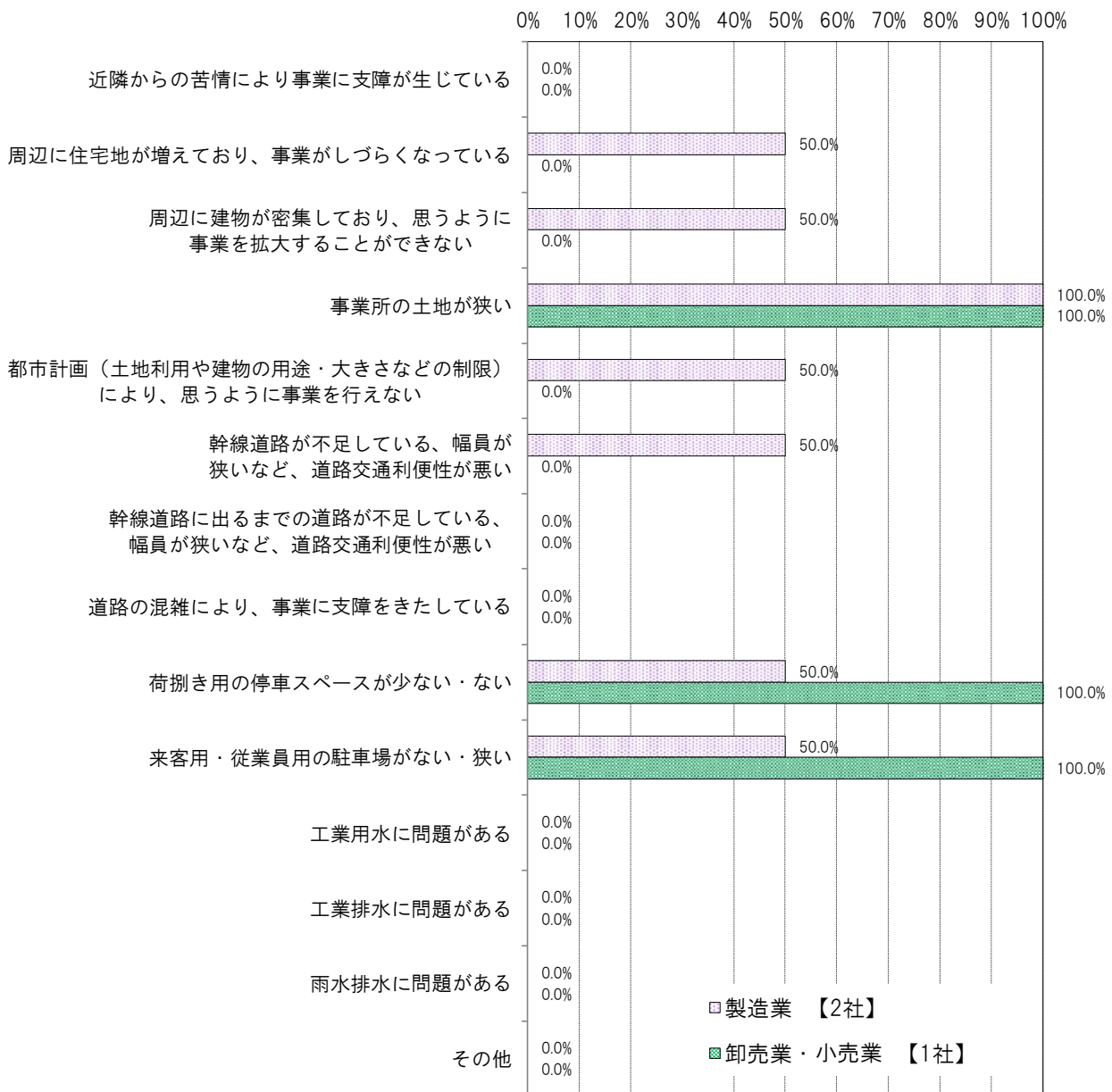
- 【①移転を希望する理由】としては、「事業所の土地が狭い」が最も多くなっています。業種別にみても、回答母数が少なく、特に傾向はありません。
- 【②希望する・考えている移転先】としては、3社とも「安中市内(郊外)」と回答しています。
- 【③移転先の立地環境として最も重視するもの】については、「高速道路のICに近いところ」、「幹線道路に近いところ」、「他の企業・事業所が立地しているところ」と意見が分かれているが、利便性を重視しています。業種別にみても、回答母数が少なく、特に傾向はありません。

【①移転を希望する理由】(あてはまる番号すべてに○)

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1. 近隣からの苦情により事業に支障が生じている	0	0.0%					
2. 周辺に住宅地が増えており、事業がしづらくなっている	1		33.3%				
3. 周辺に建物が密集しており、思うように事業を拡大することができない	1		33.3%				100.0%
4. 事業所の土地が狭い	3						
5. 都市計画(土地利用や建物の用途・大きさなどの制限)により、思うように事業を行えない	1		33.3%				
6. 幹線道路が不足している、幅員が狭いなど、道路交通利便性が悪い	1		33.3%				
7. 幹線道路に出るまでの道路が不足している、幅員が狭いなど、道路交通利便性が悪い	0	0.0%					
8. 道路の混雑により、事業に支障をきたしている	0	0.0%					
9. 荷捌き用の駐車スペースが少ない・ない	2				66.7%		
10. 来客用・従業員用の駐車場がない・狭い	2				66.7%		
11. 工業用水に問題がある	0	0.0%					
12. 工業排水に問題がある	0	0.0%					
13. 雨水排水に問題がある	0	0.0%					
14. その他	0	0.0%					
無回答	0	0.0%					
計	11						

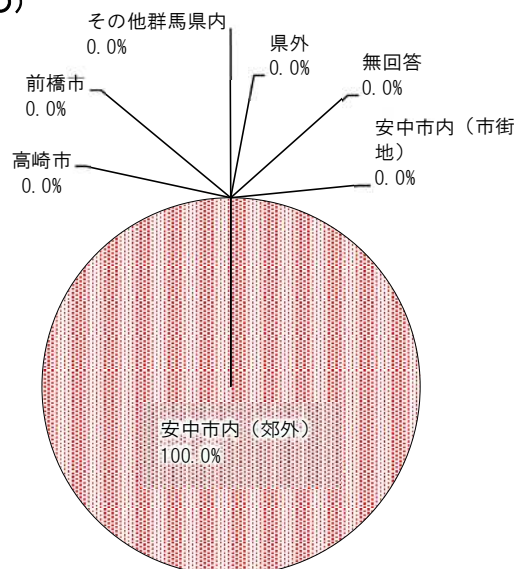
集計母数3名

【業種別】3社以上の回答のあった業種のうち、問10で「できれば移転したい・移転を考えている」と回答した事業所



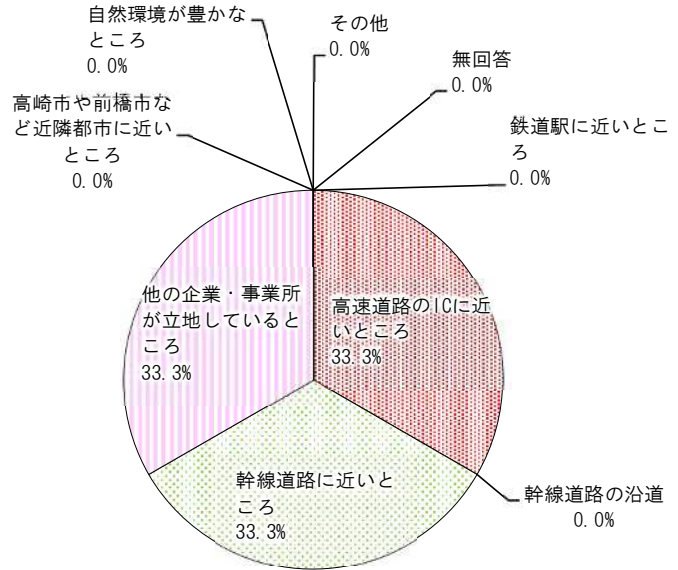
【②希望する・考えている移転先】(あてはまる番号1つに○)

選択肢	件数	比率
1. 安中市内(市街地)	0	0.0%
2. 安中市内(郊外)	3	100.0%
3. 高崎市	0	0.0%
4. 前橋市	0	0.0%
5. その他群馬県内	0	0.0%
6. 県外	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	3	100.0%

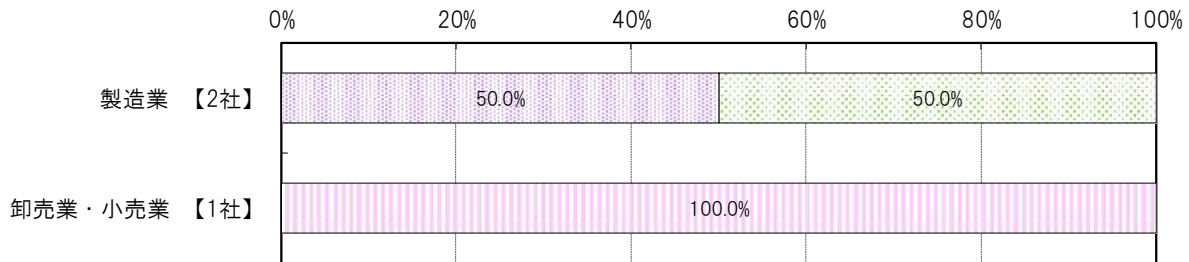


【③移転先の立地環境として最も重視するもの】(あてはまる番号1つに○)

選択肢	件数	比率
1. 鉄道駅に近いところ	0	0.0%
2. 高速道路のICに近いところ	1	33.3%
3. 幹線道路の沿道	0	0.0%
4. 幹線道路に近いところ	1	33.3%
5. 他の企業・事業所が立地しているところ	1	33.3%
6. 高崎市や前橋市など近隣都市に近いところ	0	0.0%
7. 自然環境が豊かなところ	0	0.0%
8. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	3	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種のうち、問10で「できれば移転したい・移転を考えている」と回答した事業所



- 鉄道駅に近いところ
- 高速道路のICに近いところ
- 幹線道路の沿道
- 幹線道路に近いところ
- 他の企業・事業所が立地しているところ
- 高崎市や前橋市など近隣都市に近いところ
- 自然環境が豊かなところ
- その他
- 無回答

3. 現在の安中市についてお伺いします。

問12 安中市全体としての現状に対する満足度を教えてください。

(それぞれ、あなたのお考えに最も近いもの1つに○)

「山々や緑などの自然環境」が最も満足度が高く、次いで「街の治安」となっています。逆に、「公共交通の利便性」は最も満足度が低くなっています。

業種別にみても、ほぼ同様の傾向であるが、「道路の整備状況」や「公園・広場の整備状況」、「通勤・通学の利便性」、「医療・福祉施設の利便性」については、事業所によって満足度に差があります。(母数の少ない『金融業・保険業』は除く)

[件数]

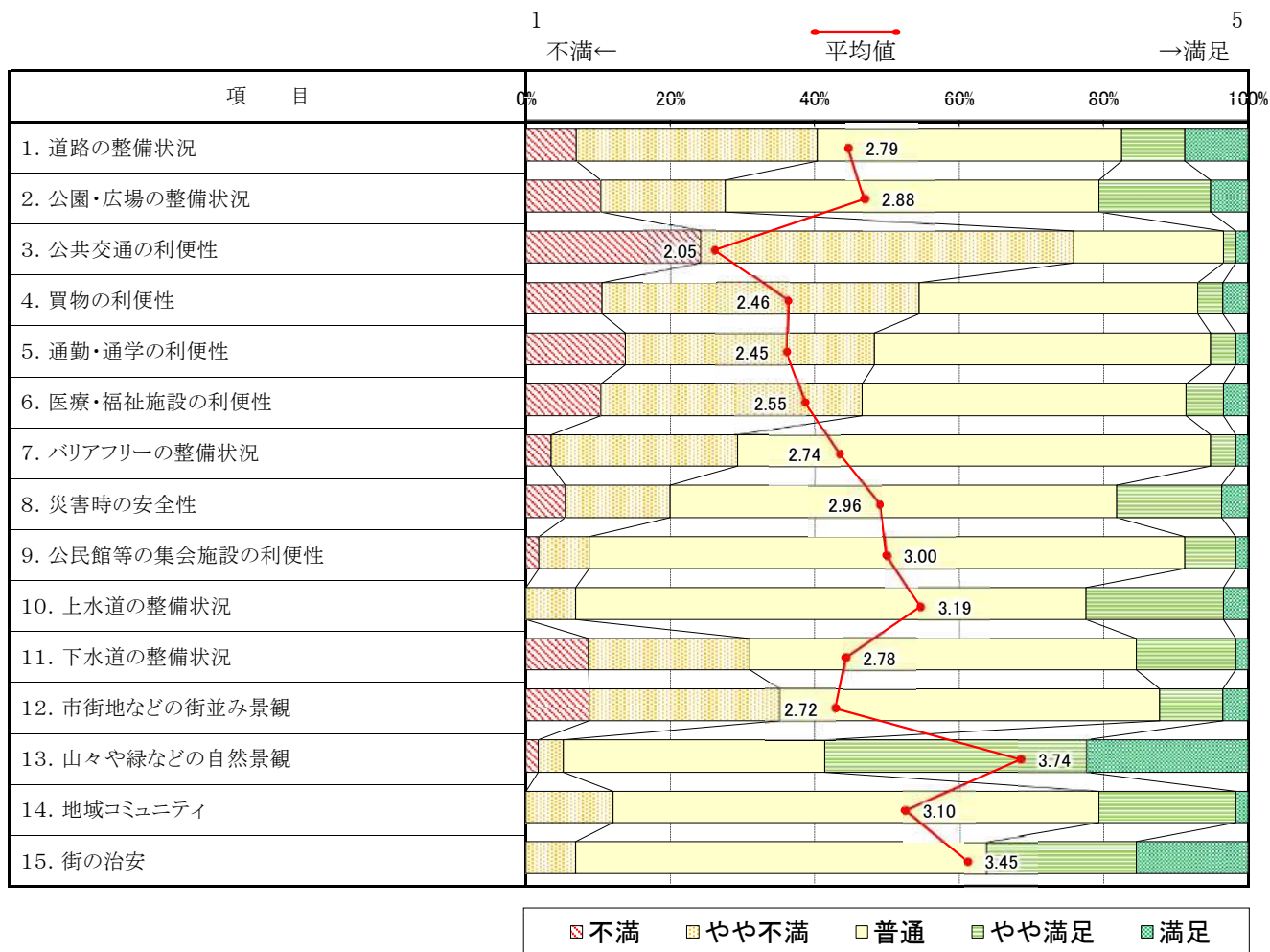
項目	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答	計	平均値
1. 道路の整備状況	4	19	24	5	5	1	58	2.79
2. 公園・広場の整備状況	6	10	30	9	3	0	58	2.88
3. 公共交通の利便性	14	30	12	1	1	0	58	2.05
4. 買物の利便性	6	25	22	2	2	1	58	2.46
5. 通勤・通学の利便性	8	20	27	2	1	0	58	2.45
6. 医療・福祉施設の利便性	6	21	26	3	2	0	58	2.55
7. バリアフリーの整備状況	2	15	38	2	1	0	58	2.74
8. 災害時の安全性	3	8	34	8	2	3	58	2.96
9. 公民館等の集会施設の利便性	1	4	47	4	1	1	58	3.00
10. 上水道の整備状況	0	4	41	11	2	0	58	3.19
11. 下水道の整備状況	5	13	31	8	1	0	58	2.78
12. 市街地などの街並み景観	5	15	30	5	2	1	58	2.72
13. 山々や緑などの自然景観	1	2	21	21	13	0	58	3.74
14. 地域コミュニティ	0	7	39	11	1	0	58	3.10
15. 街の治安	0	4	33	12	9	0	58	3.45

※平均値(不満・・・1、やや不満・・・2、普通・・・3、やや満足・・・4、満足・・・5)無回答は除く。
複数回答は集計除外とした。

[割合]

項目	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	計
1. 道路の整備状況	7.0%	33.3%	42.1%	8.8%	8.8%	100.0%
2. 公園・広場の整備状況	10.3%	17.2%	51.7%	15.5%	5.2%	100.0%
3. 公共交通の利便性	24.1%	51.7%	20.7%	1.7%	1.7%	100.0%
4. 買物の利便性	10.5%	43.9%	38.6%	3.5%	3.5%	100.0%
5. 通勤・通学の利便性	13.8%	34.5%	46.6%	3.4%	1.7%	100.0%
6. 医療・福祉施設の利便性	10.3%	36.2%	44.8%	5.2%	3.4%	100.0%
7. バリアフリーの整備状況	3.4%	25.9%	65.5%	3.4%	1.7%	100.0%
8. 災害時の安全性	5.5%	14.5%	61.8%	14.5%	3.6%	100.0%
9. 公民館等の集会施設の利便性	1.8%	7.0%	82.5%	7.0%	1.8%	100.0%
10. 上水道の整備状況	0.0%	6.9%	70.7%	19.0%	3.4%	100.0%
11. 下水道の整備状況	8.6%	22.4%	53.4%	13.8%	1.7%	100.0%
12. 市街地などの街並み景観	8.8%	26.3%	52.6%	8.8%	3.5%	100.0%
13. 山々や緑などの自然景観	1.7%	3.4%	36.2%	36.2%	22.4%	100.0%
14. 地域コミュニティ	0.0%	12.1%	67.2%	19.0%	1.7%	100.0%
15. 街の治安	0.0%	6.9%	56.9%	20.7%	15.5%	100.0%

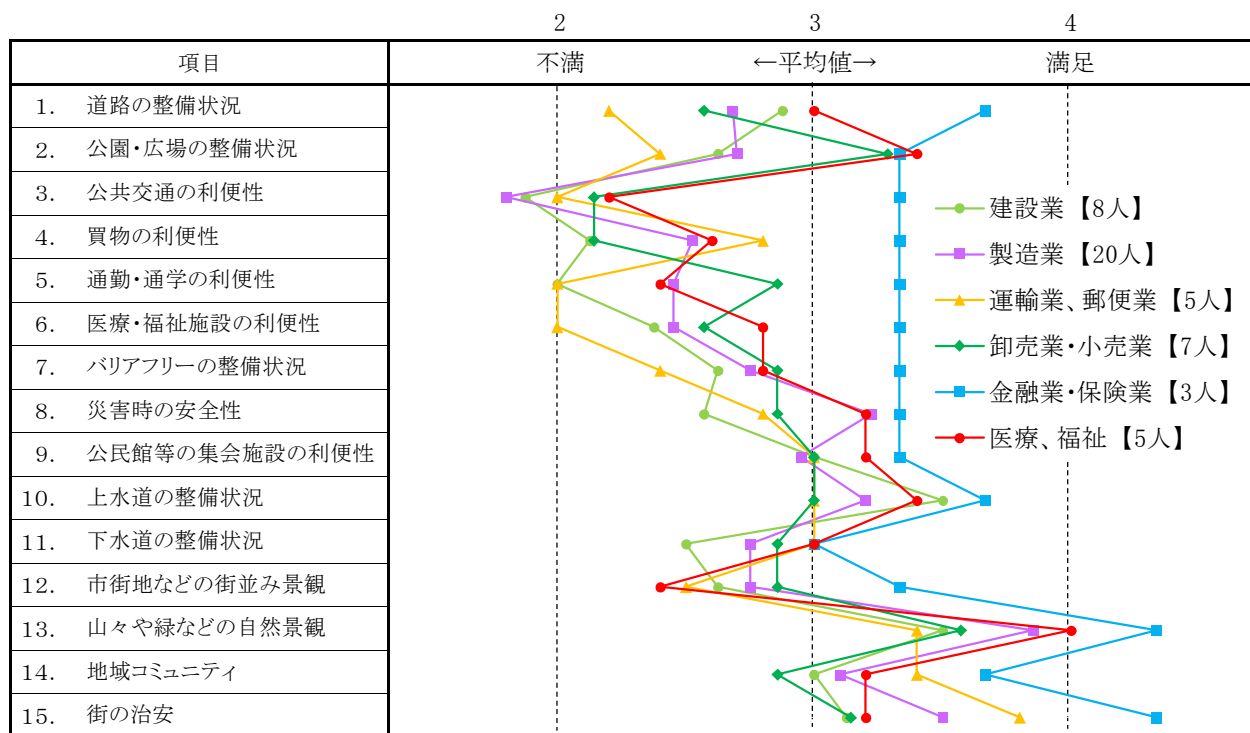
※無回答は除く。



※平均値(不満・1、やや不満・2、普通・3、やや満足・4、満足・5)無回答は除く。

※折れ線は平均値。

【業種別】3社以上の回答のあった業種



※平均値(不満・1、やや不満・2、普通・3、やや満足・4、満足・5)無回答は除く。

問13 貴事業所の周辺環境の状況について教えてください。
(それぞれ、最も近いもの1つに○)

「緑豊かで憩い・つろげる場所がある」、「駅や商業施設などに自転車駐車場(駐輪場)がある」のポイントが高くなっています。逆に、「駅周辺に娯楽施設や商業施設などがある」、「電車やバスの便などが充実し、公共交通が使いやすい」のポイントは低くなっています。

業種別にみても、ほぼ同様の傾向であるが、「道が広いなど、地震や火災に対して強い」、「駅周辺の商業施設などに駐車場がある」については、事業所によってポイントに差があります。(母数の少ない『金融業・保険業』は除く)

[件数]

項目	全く思わない	あまり思わない	ややそう思う	そう思う	無回答	計	平均値
1. 食料品や雑貨などの日用品を揃える商店が多い	16	20	16	6	0	58	2.21
2. 近くに病院があるなど、公共的な施設が使いやすい	9	30	15	4	0	58	2.24
3. 日頃利用する公園が使いやすい	14	25	16	2	1	58	2.11
4. 近くに避難施設があるなど災害時に避難しやすい	8	25	22	2	1	58	2.32
5. 道が広いなど、地震や火災に対して強い	7	24	21	6	0	58	2.45
6. 道路や横断歩道の整備などにより、歩行者が歩きやすい	8	25	22	3	0	58	2.34
7. 道路が整備され、自転車が走りやすい	10	27	19	2	0	58	2.22
8. 幹線道路などが整備され、車で移動しやすい	7	18	27	6	0	58	2.55
9. 電車やバスの便などが充実し、公共交通が使いやすい	20	32	5	1	0	58	1.78
10. 美しい建築物・道路などの良好な景観がある	11	30	15	2	0	58	2.14
11. 緑豊かで憩い・つろげる場所がある	4	16	31	7	0	58	2.71
12. 河川・水路などの水に親しめる場所がある	7	25	23	3	0	58	2.38
13. バス、タクシー乗り場などが整備されている	18	30	9	1	0	58	1.88
14. 近くに幼稚園や保育園など子育て支援施設がある	5	25	25	3	0	58	2.45
15. 近くに高齢者支援施設や障害者支援施設がある	4	20	28	4	1	57	2.57
16. 駅周辺に娯楽施設や商業施設などがある	23	30	4	1	0	58	1.71
17. 駅や商業施設などに自転車駐車場(駐輪場)がある	5	13	34	6	0	58	2.71
18. 駅周辺の商業施設などに駐車場がある	11	23	17	7	0	58	2.34

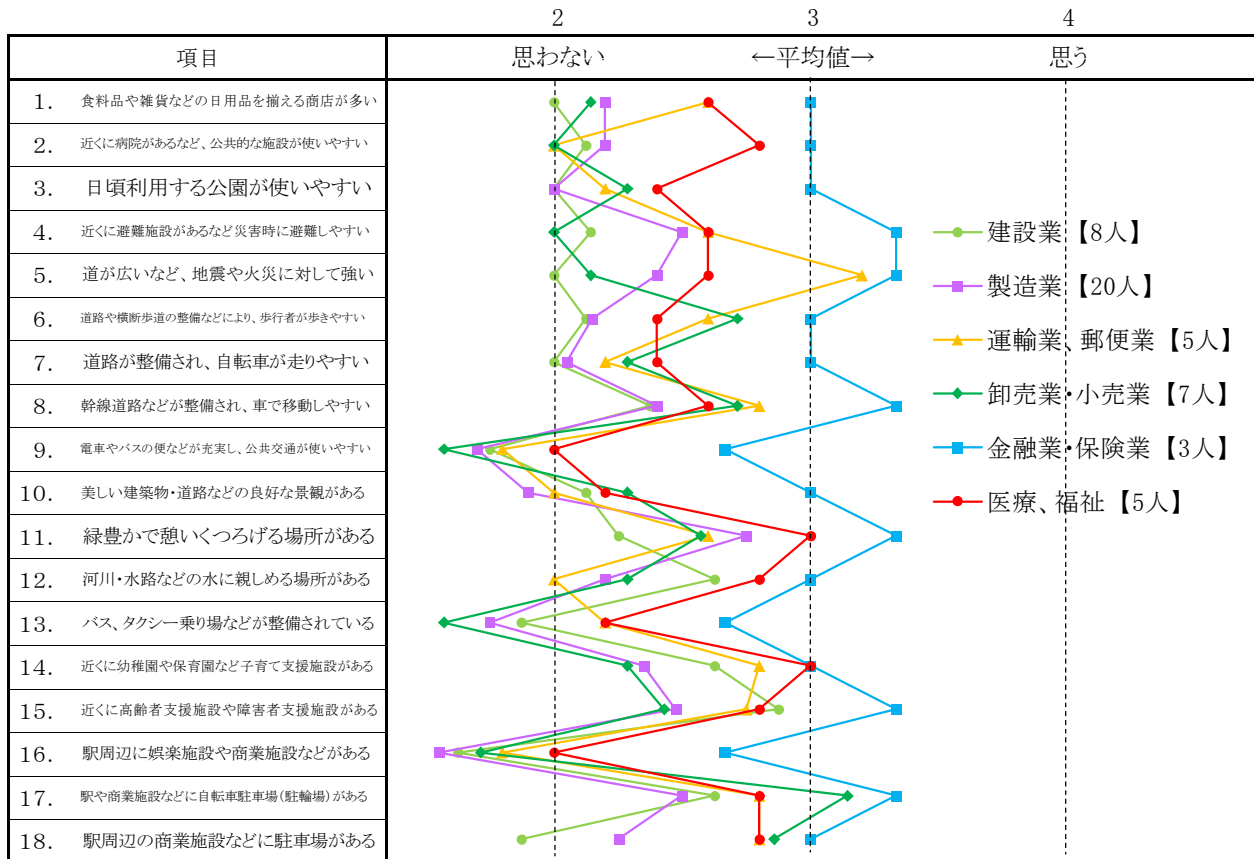
※平均値(全く思わない・1、あまり思わない・2、ややそう思う・3、そう思う・4)無回答は除く。
複数回答は集計除外とした。

[割合]

項目	全く思わない	あまり思わない	ややそう思う	そう思う	計
1. 食料品や雑貨などの日用品を揃える商店が多い	27.6%	34.5%	27.6%	10.3%	100.0%
2. 近くに病院があるなど、公共的な施設が使いやすい	15.5%	51.7%	25.9%	6.9%	100.0%
3. 日頃利用する公園が使いやすい	24.6%	43.9%	28.1%	3.5%	100.0%
4. 近くに避難施設があるなど災害時に避難しやすい	14.0%	43.9%	38.6%	3.5%	100.0%
5. 道が広いなど、地震や火災に対して強い	12.1%	41.4%	36.2%	10.3%	100.0%
6. 道路や横断歩道の整備などにより、歩行者が歩きやすい	13.8%	43.1%	37.9%	5.2%	100.0%
7. 道路が整備され、自転車が走りやすい	17.2%	46.6%	32.8%	3.4%	100.0%
8. 幹線道路などが整備され、車で移動しやすい	12.1%	31.0%	46.6%	10.3%	100.0%
9. 電車やバスの便などが充実し、公共交通が使いやすい	34.5%	55.2%	8.6%	1.7%	100.0%
10. 美しい建築物・道路などの良好な景観がある	19.0%	51.7%	25.9%	3.4%	100.0%
11. 緑豊かで憩い・つろげる場所がある	6.9%	27.6%	53.4%	12.1%	100.0%
12. 河川・水路などの水に親しめる場所がある	12.1%	43.1%	39.7%	5.2%	100.0%
13. バス、タクシー乗り場などが整備されている	31.0%	51.7%	15.5%	1.7%	100.0%
14. 近くに幼稚園や保育園など子育て支援施設がある	8.6%	43.1%	43.1%	5.2%	100.0%
15. 近くに高齢者支援施設や障害者支援施設がある	7.1%	35.7%	50.0%	7.1%	100.0%
16. 駅周辺に娯楽施設や商業施設などがある	39.7%	51.7%	6.9%	1.7%	100.0%
17. 駅や商業施設などに自転車駐車場(駐輪場)がある	8.6%	22.4%	58.6%	10.3%	100.0%
18. 駅周辺の商業施設などに駐車場がある	19.0%	39.7%	29.3%	12.1%	100.0%

※無回答は除く。

【業種別】3社以上の回答のあった業種



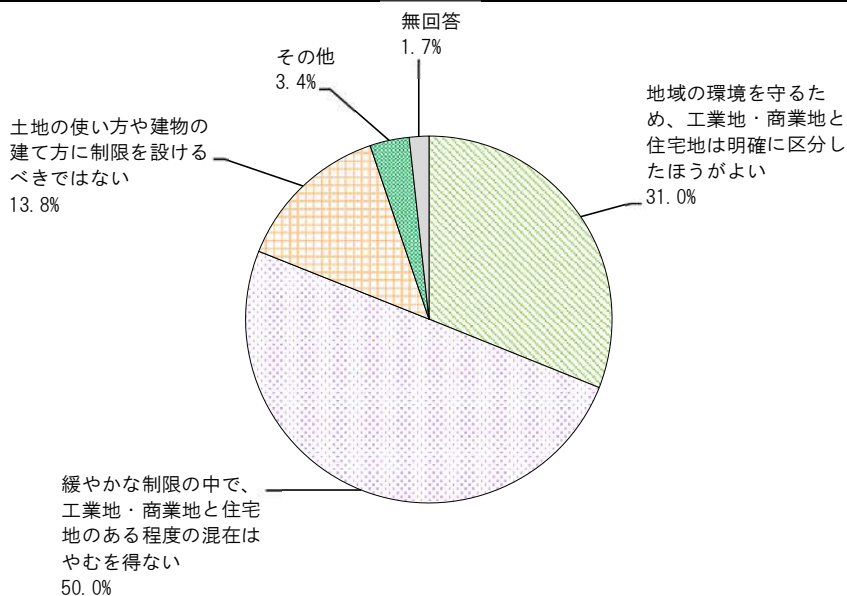
※平均値(全く思わない・1、あまり思わない・2、ややそう思う・3、そう思う・4) 無回答は除く。

4. 今後の安中市についてお伺いします。

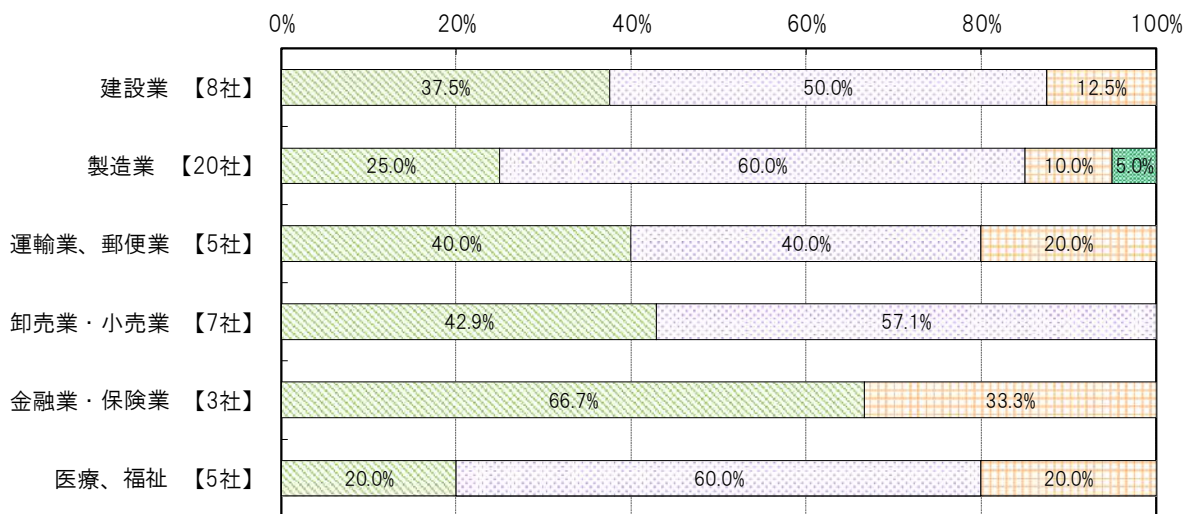
問14 今後の事業所等の立地について、どのようにお考えですか。(あてはまる番号1つに○)

- 「緩やかな制限の中で、工業地・商業地と住宅地のある程度の混在はやむを得ない」が50.0%で最も多く、次いで「地域の環境を守るため、工業地・商業地と住宅地は明確に区分したほうがよい」31.0%となっています。
- 業種別にみてもほぼ同様の傾向であるが、『金融業・保険業』では「地域の環境を守るため、工業地・商業地と住宅地は明確に区分したほうがよい」が最も多く、66.7%となっています。

選択肢	件数	比率
1. 地域の環境を守るため、工業地・商業地と住宅地は明確に区分したほうがよい	18	31.0%
2. 緩やかな制限の中で、工業地・商業地と住宅地のある程度の混在はやむを得ない	29	50.0%
3. 土地の使い方や建物の建て方に制限を設けるべきではない	8	13.8%
4. その他	2	3.4%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種



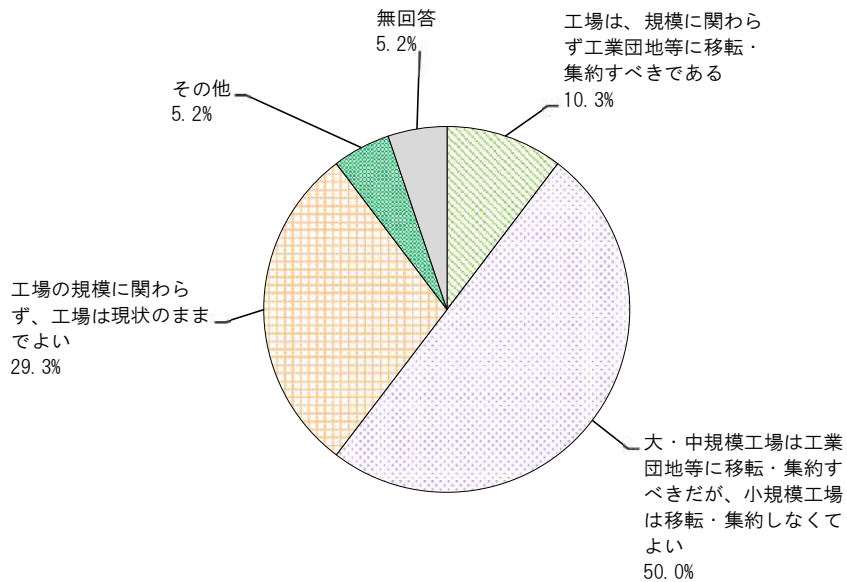
- 地域の環境を守るため、工業地・商業地と住宅地は明確に区分したほうがよい
- 緩やかな制限の中で、工業地・商業地と住宅地のある程度の混在はやむを得ない
- 土地の使い方や建物の建て方に制限を設けるべきではない
- その他
- 無回答

問15 今後の工業地のあり方(工場の立地のあり方)について、どのようにお考えですか。
以下の①②それぞれについてお答えください。

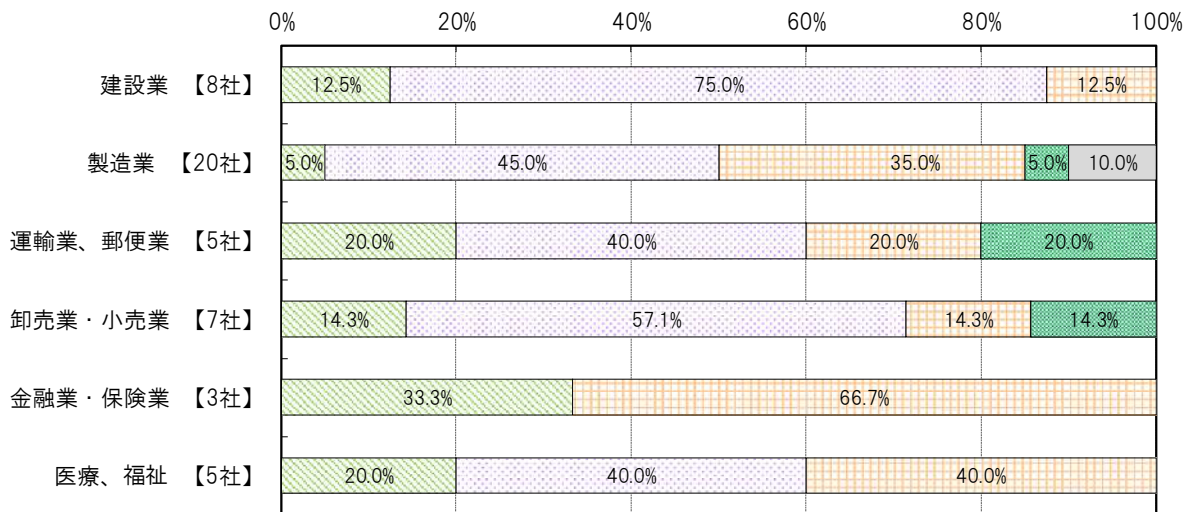
①工場の規模による立地のあり方について(あてはまる番号1つに○)

- 「大・中規模工場は工業団地等に移転・集約すべきだが、小規模工場は移転・集約しなくてよい」が50.0%で最も多く、次いで「工場の規模に関わらず、工場は現状のままでよい」29.3%となっています。
- 業種別にみてもほぼ同様の傾向であるが、『金融業・保険業』では「工場の規模に関わらず、工場は現状のままでよい」が66.7%で最も多くなっています。

選択肢	件数	比率
1. 工場は、規模に関わらず工業団地等に移転・集約すべきである	6	10.3%
2. 大・中規模工場は工業団地等に移転・集約すべきだが、小規模工場は移転・集約しなくてよい	29	50.0%
3. 工場の規模に関わらず、工場は現状のままでよい	17	29.3%
4. その他	3	5.2%
無回答	3	5.2%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種

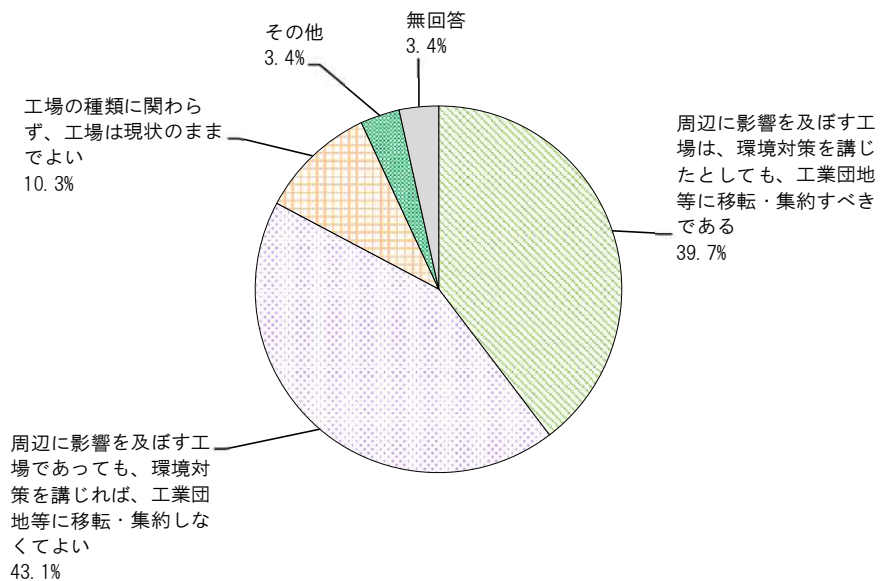


- 工場は、規模に関わらず工業団地等に移転・集約すべきである
- 大・中規模工場は工業団地等に移転・集約すべきだが、小規模工場は移転・集約しなくてよい
- 工場の規模に関わらず、工場は現状のままでよい
- その他
- 無回答

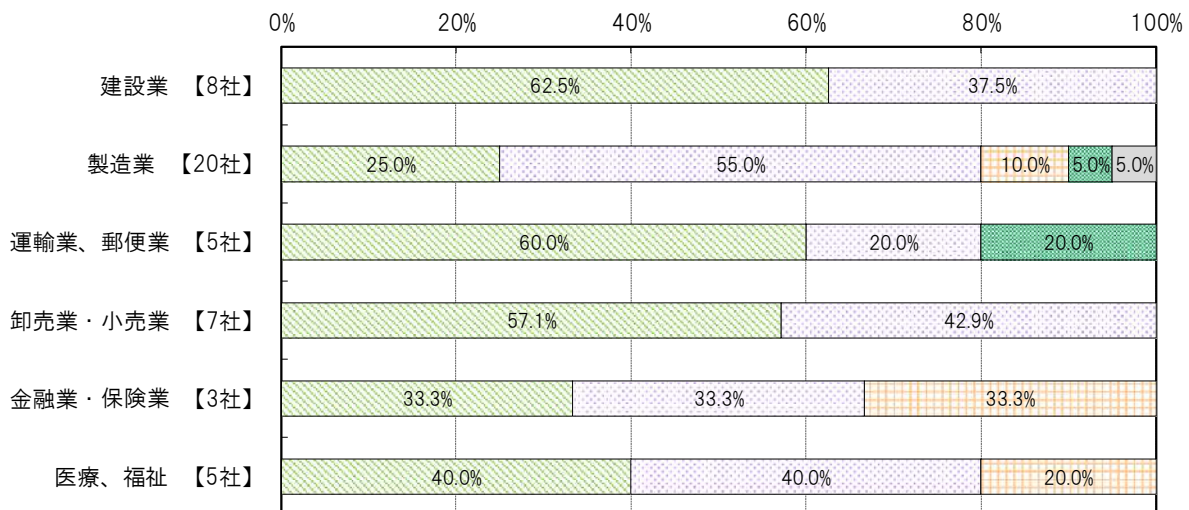
②工場の種類による立地のあり方について(あてはまる番号1つに○)

- 「周辺に影響を及ぼす工場であっても、環境対策を講じれば、工業団地等に移転・集約しなくてよい」が43.1%で最も多く、「工場の種類に関わらず、工場は現状のままでよい」10.3%と合わせると、約半数が現状維持でよいとしています。
- 業種別にみると、『建設業』、『運輸業、郵便業』、『卸売業・小売業』では、「周辺に影響を及ぼす工場は、環境対策を講じたとしても、工業団地等に移転・集約すべきである」との回答が6割前後と最も多くなっています。

選択肢	件数	比率
1. 周辺に影響を及ぼす工場は、環境対策を講じたとしても、工業団地等に移転・集約すべきである	23	39.7%
2. 周辺に影響を及ぼす工場であっても、環境対策を講じれば、工業団地等に移転・集約しなくてよい	25	43.1%
3. 工場の種類に関わらず、工場は現状のままでよい	6	10.3%
4. その他	2	3.4%
無回答	2	3.4%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種



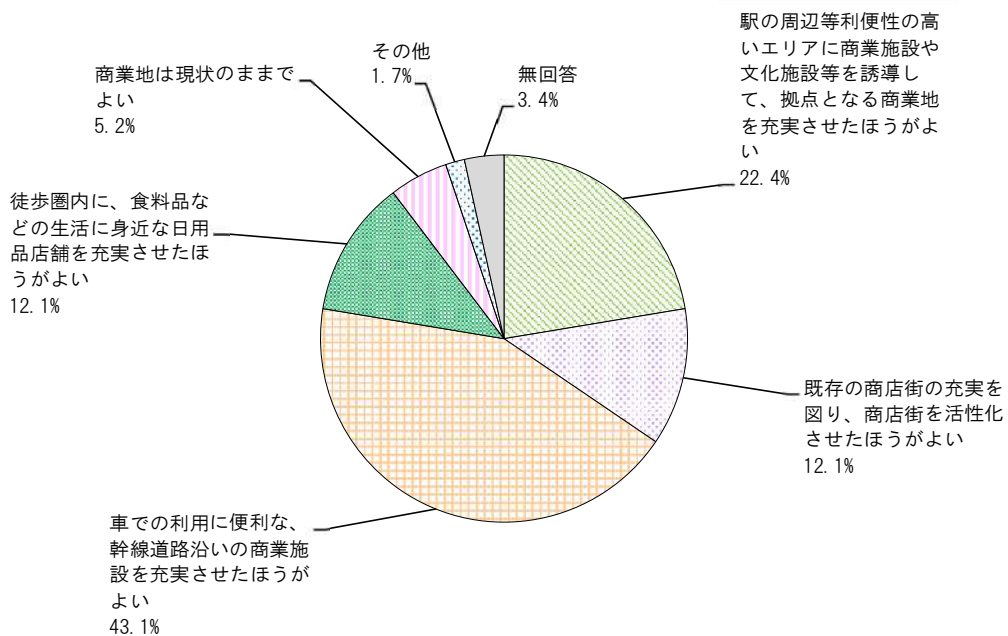
- 周辺に影響を及ぼす工場は、環境対策を講じたとしても、工業団地等に移転・集約すべきである
- 周辺に影響を及ぼす工場であっても、環境対策を講じれば、工業団地等に移転・集約しなくてよい
- 工場の種類に関わらず、工場は現状のままでよい
- その他
- 無回答

問16 今後の商業地のあり方(店舗等の立地のあり方)について、どのようにお考えですか。
(あてはまる番号1つに○)

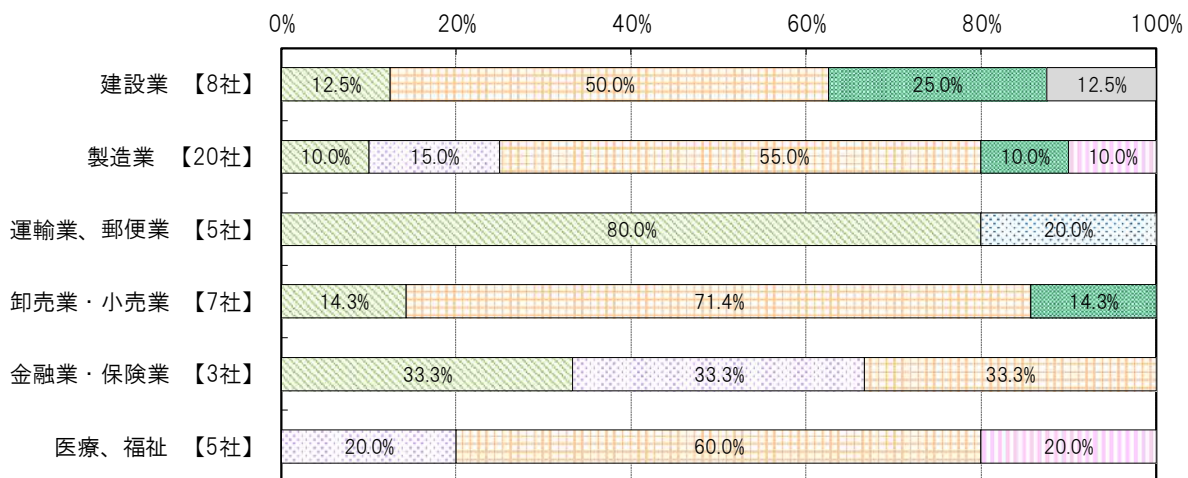
「車での利用に便利な、幹線道路沿いの商業施設を充実させたほうがよい」が43.1%で最も多く、次いで「駅の周辺等利便性の高いエリアに商業施設や文化施設等を誘導して、拠点となる商業地を充実させたほうがよい」22.4%となっています。

業種別にみると、『運輸業、郵便業』では、「駅の周辺等利便性の高いエリアに商業施設や文化施設等を誘導して、拠点となる商業地を充実させたほうがよい」が最も多く、8割を占めています。

選択肢	件数	比率
1. 駅の周辺等利便性の高いエリアに商業施設や文化施設等を誘導して、拠点となる商業地を充実させたほうがよい	13	22.4%
2. 既存の商店街の充実を図り、商店街を活性化させたほうがよい	7	12.1%
3. 車での利用に便利な、幹線道路沿いの商業施設を充実させたほうがよい	25	43.1%
4. 徒歩圏内に、食料品などの生活に身近な日用品店舗を充実させたほうがよい	7	12.1%
5. 商業地は現状のままでよい	3	5.2%
6. その他	1	1.7%
無回答	2	3.4%
計	58	100.0%



【業種別】3社以上の回答のあった業種



- 駅の周辺等利便性の高いエリアに商業施設や文化施設等を誘導して、拠点となる商業地を充実させたほうがよい
- 既存の商店街の充実を図り、商店街を活性化させたほうがよい
- 車での利用に便利な、幹線道路沿いの商業施設を充実させたほうがよい
- 徒歩圏内に、食料品などの生活に身近な日用品店舗を充実させたほうがよい
- 商業地は現状のままでよい
- その他
- 無回答

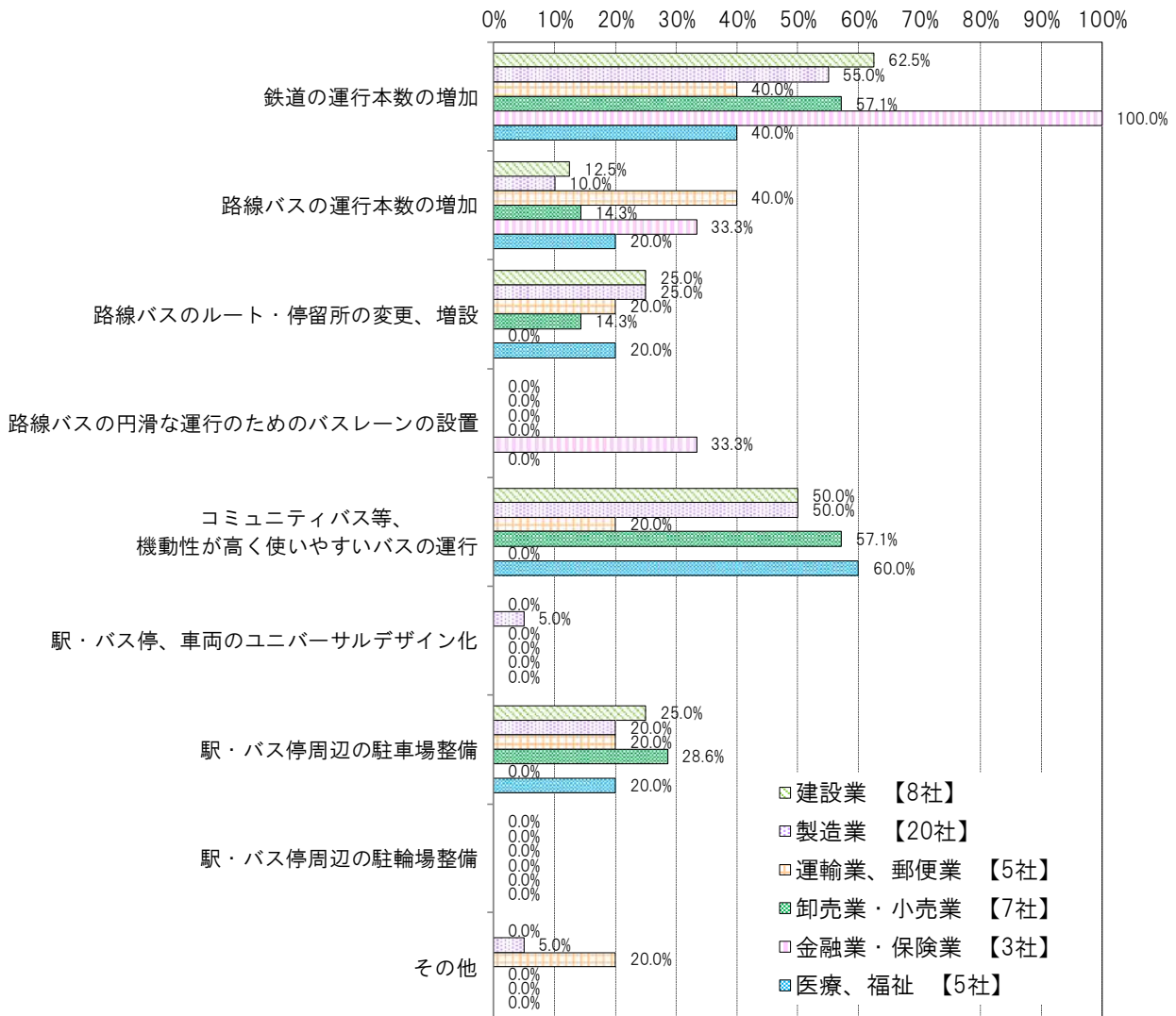
問17 今後、公共交通の利便性を高めるための取組として重要なことは、何だと思えますか。
 (あてはまる番号2つまでに○)

- 「鉄道の運行本数の増加」、「コミュニティバス等、機動性が高く使いやすいバスの運行」との回答が多くなっています。
- 業種別にみてもほぼ同様の傾向となっています。(母数の少ない『金融業・保険業』は除く)

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	
1. 鉄道の運行本数の増加	28	48.3%							
2. 路線バスの運行本数の増加	9	15.5%							
3. 路線バスのルート・停留所の変更、増設	12	20.7%							
4. 路線バスの円滑な運行のためのバスレーンの設置	1	1.7%							
5. コミュニティバス等、機動性が高く使いやすいバスの運行	28	48.3%							
6. 駅・バス停、車両のユニバーサルデザイン化	1	1.7%							
7. 駅・バス停周辺の駐車場整備	15	25.9%							
8. 駅・バス停周辺の駐輪場整備	0	0.0%							
9. その他	2	3.4%							
無回答	4	6.9%							
計	100								

集計母数58名

【業種別】3社以上の回答のあった業種



問18 最後に安中市のまちづくりについて、ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

- 項目別では『産業(工業・商業・観光業・農業)』に関する意見が最も多く、内容としては、企業や商業施設の誘致により活性化を期待するものとなっています。

該当する事業者から抽出

項目	件数
1. 土地利用	0
2. 交通	2
3. 水・みどり・環境	1
4. 安全・安心（防災）	0
5. 生活環境	0
6. 景観	0
7. 産業（工業・商業・観光業・農業）	4
8. コミュニティ	0
9. 医療・福祉	1
10. 教育・文化	0
11. 防犯	0
12. まちづくり全般	2
13. その他（要望・感想）	2
	12

1. 土地利用（0件）

1. 土地利用	業種	所在

2. 交通（2件）

2. 交通	業種	所在
商業施設に乗り入れるコミュニティバスの停留所を整備すると利便性が上がる。買い物難民対策としてもコミュニティバスのブラッシュアップは必要。カインズ、ベイシア、ヤオコー等。	卸売業・小売業	安中地区
西毛広域幹線道路の全線開通を見据えた、地域発展に向けた施策に期待します。	複合サービス事業	原市地区

3. 水・みどり・環境（1件）

3. 水・みどり・環境	業種	所在
自然を生かしたまちづくりを望みます。	医療、福祉	東横野地区

4. 安全・安心（防災）（0件）

4. 安全・安心（防災）	業種	所在

5. 生活環境（0件）

5. 生活環境	業種	所在

6. 景観 (0件)

6. 景観	業種	所在
-------	----	----

7. 産業 (工業・商業・観光業・農業) (4件)

7. 産業 (工業・商業・観光業・農業)	業種	所在
企業誘致・大型商業施設誘致などで人があつまるまちづくりをお願いします。	建設業	安中地区
テーマパーク、アミューズメント施設の誘致。	運輸業、郵便業	板鼻地区
大規模商業施設ができれば市の活性化が期待できるのではないかと考えます。	卸売業・小売業	安中地区
安中市においては、大型チェーン店の飲食店の出店が少ない。誘致活動はおこなわれていないのか。	卸売業・小売業	西横野地区

8. コミュニティ (0件)

8. コミュニティ	業種	所在
-----------	----	----

9. 医療・福祉 (1件)

9. 医療・福祉	業種	所在
医療に携わっており、現場で出会う安中市所属の保健師さんや職員の方々には、優秀で頑張っている方がたくさんいます。ただ、市民にはそのことは伝わりません。その理由は、安中市はこれまで医療・保健行政の面で、先進的な取り組みはせず、富岡市などの周囲の同規模の市が手掛けないと取り組まないといい傾向が強かったように思います。これからはむしろ他市町村に先駆けた先進的な医療・保健に関する事業を展開し、市民が安中市に住んでいて良かったと思えるようにしていただくと、市民が胸を張っていけますし、市の活性化にもつながるものと思います。	医療、福祉	磯部地区

10. 教育・文化 (0件)

10. 教育・文化	業種	所在
-----------	----	----

11. 防犯 (0件)

11. 防犯	業種	所在
--------	----	----

12. まちづくり全般 (2件)

12. まちづくり全般	業種	所在
このアンケートを通じてどの項目に対して回答する時人も多くなると採算が合わない事が頭に浮かんだ。しかし、不便な所に人は集まらないから難しいですね。	製造業	原市地区
人、物、金の動く活気のある安中市を目指し、私達も事業に邁進したいと思います。	運輸業、郵便業	原市地区

13. その他 (要望・感想) (2件)

13. その他 (要望・感想)	業種	所在
地域に貢献しながら地域密着型タイプの事業を目指していきたいと思う。	製造業	原市地区
移転してきて5年で、安中市に住んでないので、環境や交通のことに疎いので、あまり協力できなくてすみません。	運輸業、郵便業	板鼻地区

まちづくりに関するアンケート 調査票

1. 貴事業所のことについてお伺いします。

問1 貴事業所の業種についてお選びください。(あてはまる番号 1つに○)

1.	農業、林業	2.	漁業
3.	鉱業、採石業、砂利採取業	4.	建設業
5.	製造業	6.	電気・ガス・熱供給・水道業
7.	情報通信業	8.	運輸業、郵便業
9.	卸売業・小売業	10.	金融業・保険業
11.	不動産業、物品賃貸業	12.	学術研究、専門・技術サービス業
13.	宿泊業、飲食サービス業	14.	生活関連サービス業、娯楽業
15.	教育、学習支援業	16.	医療、福祉
17.	複合サービス事業	18.	サービス業
19.	その他 ()		

問2 貴事業所の所在地についてお選びください。(あてはまる番号 1つに○)

1.	安中地区	2.	原市地区	3.	磯部地区	4.	東横野地区
5.	岩野谷地区	6.	板鼻地区	7.	秋間地区	8.	後閑地区
9.	松井田地区	10.	白井地区	11.	坂本地区	12.	西横野地区
13.	九十九地区	14.	細野地区				

【地区区分】



問3 貴事業所の従業員数についてお選びください。(あてはまる番号 1つに○)

1.	1～9人	2.	10～19人	3.	20～29人	4.	30～49人
5.	50～99人	6.	100～199人	7.	200～299人	8.	300人以上

問4 貴事業所の従業員の主な通勤手段についてお選びください。(あてはまる番号 2つまでに○)

1.	徒歩	2.	自転車・原付	3.	バイク	4.	自家用車
5.	電車	6.	バス	7.	その他 ()		

問5 今後、貴事業所において事業拡大(新たな事業用地の確保・現事業用地の拡大等)のお考えはありますか。(あてはまる番号 1つに○)

1.	事業拡大する予定である	2.	事業拡大したいと考えている
3.	事業拡大の予定・考えはない	4.	わからない

問6 問5において、「事業拡大する予定である」または「事業拡大したいと考えている」と回答した事業所にお伺いします。
事業拡大について、現時点から何年後の実現を予定または考えていますか。(あてはまる番号 1つに○)

1.	3年以内	2.	3～5年以内
3.	5～10年以内	4.	10年以上先
5.	わからない		

問7 安中市では、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティあんなか」を令和5年6月11日に宣言しました。
貴事業所において、今後、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする取組や、二酸化炭素の排出量を削減する取組を進める予定はありますか。(あてはまる番号 1つに○)

1.	既に取り組んでいる	2.	間もなく取り組む予定である
3.	取り組む予定はあるが、時期は未定	4.	特に取り組む予定はない
5.	わからない		

問8 問7で「既に取り組んでいる」または「間もなく取り組む予定である」と回答した事業所にお伺いします。二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする、または排出量を削減する具体的な取組について教えてください。(簡潔に、可能な範囲で結構です。)

(二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする、または排出量を削減する具体的な取組)

2. 現所在地での継続営業意向についてお伺いします。

問 9 貴事業所の現在の所在地での営業年数についてお選びください。(あてはまる番号 **1** つに○)

1.	5 年未満	2.	5～10 年未満	3.	10～15 年未満
4.	15～20 年未満	5.	20 年以上		

問 10 現在の所在地での継続営業意向についてお選びください。(あてはまる番号 **1** つに○)

1.	営業し続けたい	2.	できれば移転したい・ 移転を考えている	3.	わからない
----	---------	----	------------------------	----	-------

問 11 問 10 で「できれば移転したい・移転を考えている」と回答した事業所にお伺いします。

①移転を希望する理由、②希望する・考えている移転先、③移転先の立地環境として最も重視するものについて教えてください。

【①移転を希望する理由】(あてはまる番号**すべて**に○)

1.	近隣からの苦情により事業に支障が生じている
2.	周辺に住宅地が増えており、事業がしづらくなっている
3.	周辺に建物が密集しており、思うように事業を拡大することができない
4.	事業所の土地が狭い
5.	都市計画(土地利用や建物の用途・大きさなどの制限)により、思うように事業を行えない
6.	幹線道路が不足している、幅員が狭いなど、道路交通利便性が悪い
7.	幹線道路に出るまでの道路が不足している、幅員が狭いなど、道路交通利便性が悪い
8.	道路の混雑により、事業に支障をきたしている
9.	荷捌き用の停車スペースが少ない・ない
10.	来客用・従業員用の駐車場がない・狭い
11.	工業用水に問題がある
12.	工業排水に問題がある
13.	雨水排水に問題がある
14.	その他 ()

【②希望する・考えている移転先】(あてはまる番号 **1** つに○)

1.	安中市内(市街地 ^{※1})	2.	安中市内(郊外 ^{※2})	3.	高崎市
4.	前橋市	5.	その他群馬県内	6.	県外

※1：駅周辺や主要な幹線道路沿いなど、公共施設や商業施設が集積している地域

※2：市街地以外の地域を指し、低層建築物や農地が広がっている地域

【③移転先の立地環境として最も重視するもの】(あてはまる番号 **1** つに○)

1.	鉄道駅に近いところ	2.	高速道路の IC に近いところ
3.	幹線道路の沿道	4.	幹線道路に近いところ
5.	他の企業・事業所が立地しているところ	6.	高崎市や前橋市など近隣都市に近いところ
7.	自然環境が豊かなところ	8.	その他 ()

3. 現在の安中市についてお伺いします。

問 1 2 安中市全体としての現状に対する満足度を教えてください。
 (それぞれ、あなたのお考えに最も近いもの**1つ**に○)

		満足度				
		不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足
1.	道路の整備状況	1	2	3	4	5
2.	公園・広場の整備状況	1	2	3	4	5
3.	公共交通の利便性	1	2	3	4	5
4.	買物の利便性	1	2	3	4	5
5.	通勤・通学の利便性	1	2	3	4	5
6.	医療・福祉施設の利便性	1	2	3	4	5
7.	バリアフリーの整備状況	1	2	3	4	5
8.	災害時の安全性	1	2	3	4	5
9.	公民館等の集会施設の利便性	1	2	3	4	5
10.	上水道の整備状況	1	2	3	4	5
11.	下水道の整備状況	1	2	3	4	5
12.	市街地などの街並み景観	1	2	3	4	5
13.	山々や緑などの自然景観	1	2	3	4	5
14.	地域コミュニティ	1	2	3	4	5
15.	街の治安	1	2	3	4	5

問 1 3 貴事業所の周辺環境の状況について教えてください。
 (それぞれ、最も近いもの1つに○)

		全く 思わ ない	あ ま り 思 わ な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1.	食料品や雑貨などの日用品を揃える商店が多い	1	2	3	4
2.	近くに病院があるなど、公共的な施設が使いやすい	1	2	3	4
3.	日頃利用する公園が使いやすい	1	2	3	4
4.	近くに避難施設があるなど災害時に避難しやすい	1	2	3	4
5.	道が広いなど、地震や火災に対して強い	1	2	3	4
6.	道路や横断歩道の整備などにより、歩行者が歩きやすい	1	2	3	4
7.	道路が整備され、自転車が走りやすい	1	2	3	4
8.	幹線道路などが整備され、車で移動しやすい	1	2	3	4
9.	電車やバスの便などが充実し、公共交通が使いやすい	1	2	3	4
10.	美しい建築物・道路などの良好な景観がある	1	2	3	4
11.	緑豊かで憩いくつろげる場所がある	1	2	3	4
12.	河川・水路などの水に親しめる場所がある	1	2	3	4
13.	バス、タクシー乗り場などが整備されている	1	2	3	4
14.	近くに幼稚園や保育園など子育て支援施設がある	1	2	3	4
15.	近くに高齢者支援施設や障害者支援施設がある	1	2	3	4
16.	駅周辺に娯楽施設や商業施設などがある	1	2	3	4
17.	駅や商業施設などに自転車駐車場（駐輪場）がある	1	2	3	4
18.	駅周辺の商業施設などに駐車場がある	1	2	3	4

4. 今後の安中市についてお伺いします。

問 1 4 今後の事業所等の立地について、どのようにお考えですか。(あてはまる番号 1つ に○)

1.	地域の環境を守るため、工業地・商業地と住宅地は明確に区分したほうがよい
2.	緩やかな制限の中で、工業地・商業地と住宅地のある程度の混在はやむを得ない
3.	土地の使い方や建物の建て方に制限を設けるべきではない
4.	その他 ()

問 1 5 今後の工業地のあり方(工場の立地のあり方)について、どのようにお考えですか。以下の①②それぞれについてお答えください。

①工場の規模による立地のあり方について (あてはまる番号 1つ に○)

1.	工場は、規模に関わらず工業団地等に移転・集約すべきである
2.	大・中規模工場は工業団地等に移転・集約すべきだが、小規模工場は移転・集約しなくてよい
3.	工場の規模に関わらず、工場は現状のままでよい
4.	その他 ()

②工場の種類による立地のあり方について (あてはまる番号 1つ に○)

1.	周辺に影響を及ぼす工場は、環境対策を講じたとしても、工業団地等に移転・集約すべきである
2.	周辺に影響を及ぼす工場であっても、環境対策を講じれば、工業団地等に移転・集約しなくてよい
3.	工場の種類に関わらず、工場は現状のままでよい
4.	その他 ()

問 1 6 今後の商業地のあり方(店舗等の立地のあり方)について、どのようにお考えですか。(あてはまる番号 1つ に○)

1.	駅の周辺等利便性の高いエリアに商業施設や文化施設等を誘導して、拠点となる商業地を充実させたほうがよい
2.	既存の商店街の充実を図り、商店街を活性化させたほうがよい
3.	車での利用に便利な、幹線道路沿いの商業施設を充実させたほうがよい
4.	徒歩圏内に、食料品などの生活に身近な日用品店舗を充実させたほうがよい
5.	商業地は現状のままでよい
6.	その他 ()

問 17 今後、公共交通の利便性を高めるための取組として重要なことは、何だと思えますか。(あてはまる番号 2つまでに○)

1.	鉄道の運行本数の増加
2.	路線バスの運行本数の増加
3.	路線バスのルート・停留所の変更、増設
4.	路線バスの円滑な運行のためのバスレーンの設置
5.	コミュニティバス等、機動性が高く使いやすいバスの運行
6.	駅・バス停、車両のユニバーサルデザイン化
7.	駅・バス停周辺の駐車場整備
8.	駅・バス停周辺の駐輪場整備
9.	その他 ()

問 18 最後に安中市のまちづくりについて、ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

本アンケート結果は、「安中市都市計画マスタープラン」策定の基礎資料として活用させていただきます。

ご回答いただいた調査票は、同封しております返送用封筒に入れ、切手を貼らずにお近くの郵便ポストにご投函ください。

締切日は 7月10日(月) となります。